

「汝の父母（ちちはは）を敬え」

「あなたの父母を敬え。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生きることができる。」（出エジプト記 20:12）

「汝の父母を敬え」は第五戒です。一戒から四戒は神に対する戒めで（第一板）、五戒から十戒を人間に対する戒め（第二板）として、考える人もいますが、この五戒については異論があります。「敬う（カーベード）」という言葉は、元来神様に対して用いられた言葉であります。その言葉がここで使われていることは、父母を通して神様を敬え、服従するように命じられているからです。親と子どもとの関係の根源は神様から来ています。そのようなことから、この五戒を第一板に含めるべきだと考える人もいます。

この戒めは単なる親孝行を命じるのではなく、神様の独り子イエスを通して示してくださった救いの愛と憐れみに対する信頼と応答として、神様が立ててくださった父母への愛と尊敬が命じられているのです。

父母を敬うことは、神様の約束の地で長く生きるための条件にもなっています。これは最も神聖な戒めの一つとして、子に与えられている大きな責任でもあり、神様の祝福の約束に繋がることでもあるのです。

今日においては、このような親子の好ましい関係をさらに脅かす世界に私たちは住んでいます。偶像世界の中で真の神への信頼を失い、親も子も人間性の喪失になりかちな状況になっています。経済成長、繁栄が強調される社会によって疲れを覚えて傷つけられた親は子に無関心になり、あるいは歪んだ愛情によって子を傷つけ、子の心を病ませることが起こっています。

親が家庭を支配してくださる神様を信頼し讃美する中で、子はそれを見ながら神様への畏れを抱き、1戒から四戒を共に守る中で成就されることがこの五戒であります。

先ず、信仰の継承は、家庭と子に対する確かな祝福であるのです。

神様を畏れ、父母を敬うことは、私自身への神様の祝福であり、子に対するその祝福の約束の継承でもあるのです。

*共に祈りましょう。

- ・この五戒の重みを黙想しながら、命じられたとおりに私自身が生きることができるよう祈りましょう。
- ・わが家庭の子どもたちが神様を信頼し、親を敬うことができるように祈りましょう。
- ・各々の家庭が祝福され、信仰の継承が成し遂げられますように祈りましょう。それによって、子どもたちに神様の約束の祝福が与え続けられますように祈りましょう。